

ワークショップ だよ！

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ

の牟岐

Vol.3

と き 平成23年2月21日(月) 19:00~21:30

と ころ 牟岐町海の総合文化センター

- 南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”を開催しています。
- このお便りは、“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

ワークショップ開催の目的や、外から見た県南地域のイメージなどについて県から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。



ステップ2

地域の強み・弱みについて考えよう

2グループに分かれ、和やかな雰囲気の中で、牟岐町の地域の強いところ・弱いところについて意見を出し合いました。
参加者からは、牟岐町に対する熱い思いが、みなぎっていました。

調査によると、徳島県は郷土への愛着度は高いが、自慢度が低いという結果でした。



●ワークショップ参加者の皆さんが思うこの地域の・・・

強いところ!!

- ・気候が温暖
- ・海・川の水がきれい
- ・海の透明度が高い
- ・近場に島がある
- ・絶好のダイビングスポット
(千年サンゴ、大島の北と南で、海底の様子が違う)
- ・島に行くときタイムスリップした様な感じがする
- ・連絡船のイメージがあったかい
- ・島に自動車がない
- ・釣り、サーフィン、ダイビングなどのマリンレジャー
- ・磯、浜、川遊びができる
- ・民宿で、魚介類のランチができる
- ・ひとが温かい
- ・芸能・芸術的レベルが高い
- ・昔から地域の慣習・文化を大切にしている
- ・心に余裕がある
- ・左義長
- ・鬼ヶ岩屋
- ・新鮮で美味しい魚がある
- ・ところてん、天草
- ・行灯
- ・ハイビスカス
- ・雪が降らない
- ・水がおいしい
- ・マイナスイオンが多い
- ・潮風をうけて健康になる
- ・多芸多才の方が多い
- ・長生きしている人が多い
- ・90年合併していない
- ・南阿波サンライン
- ・五剣山
- ・箱寿司
- ・コスモスロード150万本

県外の人達にとって、地元の魚介類が味わえるお店って、魅力的(≥ω≤)b

弱いところお～

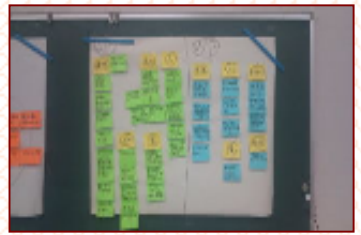
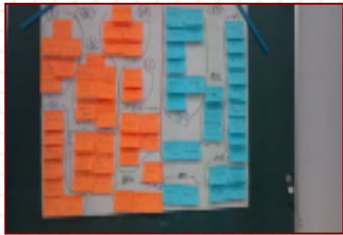
- ・道路が狭い
- ・連絡船のダイヤが観光向けでない
- ・公共交通の利用が不便
- ・商店が少ない
- ・地域のコミュニティが少ない
- ・物価が高い
- ・駐車場が少ない
- ・車がないと生活しにくい
- ・町が川で分断されている
- ・人が消極的
- ・独身者が多い
- ・世代別に交流がない
- ・地域へのこだわりがつよい
- ・雇用の場が少ない
- ・観光案内所が少ない
- ・物産場がない
- ・インターネット等の発進力が弱い
- ・県外の人達は、「牟岐」の読み方が分からない人が多い

検索とっど・・・一番上でヒットした～
これって、情報発信には有利なのでは(°o°)

ステップ3

牟岐町のイメージを提案しよう

グループで出された強みや弱みをもとに、牟岐町の地域イメージのもととなるキーワードなどを探りだし、各グループごとに、牟岐町の地域イメージを提案しました。



各グループから提案された牟岐町のイメージ

We=牟岐

- ・花のまち
- ・いるだけで元気
- ・タイムスリップ
- ・自由に遊べる川がある
- ・身近な海
- ・家族で楽しめる
- ・将来性
- ・ポカポカ
- ・手軽な〇〇
- ・安心安全
- ・島

ケセラセラ

- ◎柔軟性がある人
- ・人情がまろやか
- ・たおやかな人柄
- ・他人に親切
- ・ええかつこしい
- ・争いは好まない
- ・事なかれ主義

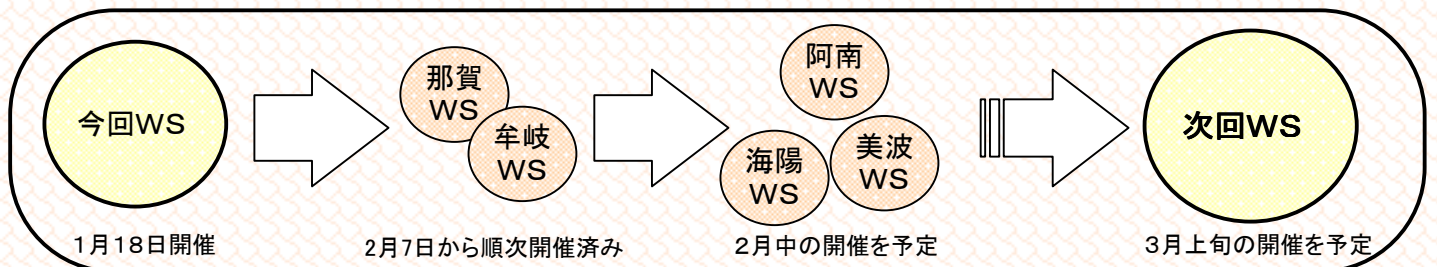
今回のワークショップでは、人に対してイメージ提案ができました\(^~^)

ステップ4

今後の予定

各グループの提案に対して、講評してもらいました。

今後、残りの県南1市2町ごとに、1回ずつワークショップを開催します。各市町での提案内容を材料に、再度全体ワークショップを開催し、県南地域のイメージを固め、地域ブランドの方向性やPR方法などについて検討していきます。



Q: 「地域ブランド」ってなんじゃ?

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「住みたい」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚掴みにするものは何か、どういふ“提供のしかた”が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップについてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>
企画振興部 県南振興担当
電話:0884-74-7356(担当:浦西)

